

R8.2



舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★

今月の一品
学芸員が選ぶ



まきのけ うまぞなえ ふ

「牧野家馬備符」

合戦シーンで、武士が背中に背負っている大きな旗を「旗指物」と呼びます。これは戦場で自分の居場所や味方を知らせる、大切な目印でした。今日は午年にちなんで田辺藩主・牧野家の旗指物をご紹介！

牧野家の初代親成が田辺へやってきたのは寛文8(1668)年。畿内を徳川の譜代大名^{ふだいだいみょう}で固める政策によって、京都所司代^{しょしだい}から田辺藩主となりました。親成のおじいさん康成^{やすしげ}やお父さんの信成^{のぶしげ}は徳川家康に仕え、馬とともに数々の戦場を駆け巡りました。

元禄13(1700)年頃の牧野家文書『武具式様図』によると、この旗は「一」から「五」まであります。

★譜代大名
関ヶ原の戦い以前から徳川家に仕えていた家臣。信頼厚い大名

★京都所司代
朝廷の監視や京都の治安維持、西国大名の統制を担った幕府の重要な役職

「一」が書いてある旗？



ミュージアム
トーク

2/11 (水・祝)
13:30~14:30

酒呑童子の浮世絵について

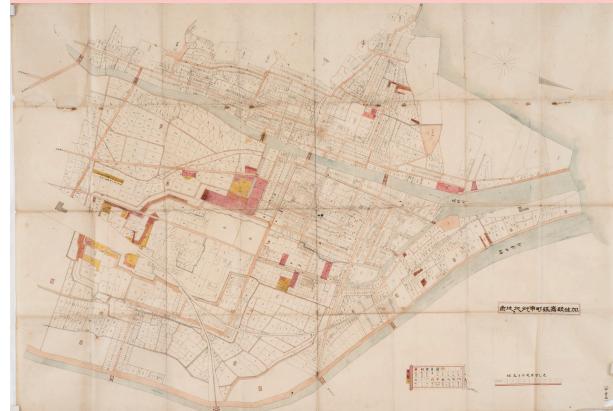
展示室にて実施

★参加費無料

★前日までに郷土資料館（75-8836）へ

城下町コーナー

西地区のうつりかわり



「加佐郡舞鶴町市街地地図」

西地区は細川幽斎が築城するまでは湿地帯でした。川の流れをわざわざ変えて、土地を平らに整えたことで、城と城下町ができました。今回の展示では、そんな西地区のうつりかわりを3枚の絵地図で紹介します。約440年間にわたる西地区の変遷をご覧ください。

3枚の絵地図

「田辺籠城図」慶長5(1600)年

「丹後田辺之図」享保12(1727)年

「加佐郡舞鶴町市街地地図」明治40(1907)年

糸井文庫コーナー

2月のテーマ

酒呑童子

しゅてんどうじ

歌川豊春
うたがわとよはる
歌川国芳
うたがわくによし
月岡芳年
つきおかばしよし
月岡耕漁
つきおかこうぎょ



「能樂百番

大江山

月岡耕漁

明治時代

糸井文庫

比叡山を追われ、大江山へ逃げた酒呑童子。ある日、山伏に化けてやつてきた源頼光一行を、そうとは知らず一生懸命もてなします。しかし、お酒を飲んで寝入ったところを不意打ちされてしまいいます。だまされた悔しさで鬼の姿に変身しますが、最後には討ち取られてしましました。

【切ない酒呑童子の物語】

2月は節分！節分といえば鬼退治！今月は有名な鬼の親分「酒呑童子」がテーマです。

浮世絵の世界で、師匠から弟子へと技術が受け継がれてきた4人のスター絵師たちの作品を並べて紹介します。中でも月岡耕漁が「能（日本の古いお芝居）」をもとに描いた酒呑童子は、どこか悲しさを感じさせます。ただ「怖い」だけじゃない、鬼の悲しみが伝わってくるような絵をぜひご覧ください。

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00 （最終入館16:30まで）

今月の休館日

2日（月）・9日（月）12日（木）・16日（月）・
24日（火）・25日（水）

〒 624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総合会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★